

富里市国民健康保険の状況

H23.11.10

加入状況の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
世帯数	8,932 世帯	9,143 世帯	9,404 世帯
世帯数増加率		2.36%	2.85%
被保険者数	17,667 人	17,797 人	18,130 人
被保険者数増加率		0.74%	1.87%

世帯数，被保険者数ともに増加しているが，世帯数の増加のほうが高い。単身世帯が増加しているものと思われる。

年齢別加入状況の推移

各年度3月31日現在

	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	被保険者数	増減率	被保険者数	増減率	被保険者数	増減率
0～4	605 人		585 人	3.31%	540 人	7.69%
5～9	651 人		626 人	3.84%	605 人	3.35%
10～14	720 人		693 人	3.75%	685 人	1.15%
15～19	790 人		773 人	2.15%	788 人	1.94%
20～24	890 人		853 人	4.16%	839 人	1.64%
25～29	952 人		977 人	2.63%	965 人	1.23%
30～34	1,053 人		992 人	5.79%	979 人	1.31%
35～39	1,165 人		1,188 人	1.97%	1,195 人	0.59%
40～44	949 人		989 人	4.21%	1,051 人	6.27%
45～49	876 人		871 人	0.57%	866 人	0.57%
50～54	1,134 人		1,074 人	5.29%	1,044 人	2.79%
55～59	1,833 人		1,669 人	11.67%	1,643 人	1.56%
60～64	2,248 人		2,462 人	9.52%	2,744 人	11.45%
65～69	2,300 人		2,443 人	6.22%	2,426 人	0.70%
70～74	1,498 人		1,601 人	6.88%	1,763 人	10.12%

若い世代が減少し，40代前半と60歳以上の被保険者が増加している。特に60～64歳が最も増加率が高く，団塊世代の方々が加入されてきたことが要因と思われる。

医療費の推移

	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
件数	204,386 件	208,091 件	217,987 件
件数増加率		1.81%	4.76%
費用額 (医療費全体)	3,719,712,238 円	3,766,852,141 円	4,023,113,527 円
費用額増加率		1.27%	6.80%
1 件当たり費用額	18,199 円	18,102 円	18,456 円
1 件当たり増加率		0.53%	1.96%
1 人当たり費用額	209,869 円	210,827 円	222,051 円
1 人当たり増加率		0.46%	5.32%
100 人当たり年間受診率	1153.16	1164.67	1203.15
受診率増加率		1.00%	3.30%

平成 22 年度はすべての項目で増加している。

費用額が最も増加率が高いが、件数の増加及び平成 22 年度は診療報酬本体 + 1.55%、薬価等の改定 1.36%、合計 + 0.19%の改定があったことも要因の一つと思われる。

うち一般被保険者

	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
被保険者数	16,779 人	16,808 人	16,967 人
被保険者数増加率		0.17%	0.95%
費用額	3,390,444,949 円	3,473,943,671 円	3,695,163,443 円
費用額増加率		2.46%	6.37%

被保険者数の増加率よりも費用額の増加率が高い。高額な医療を受けている人が増加したものと考えられる。

うち退職被保険者

	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
被保険者数	888 人	989 人	1,163 人
被保険者数増加率		11.37%	17.59%
費用額	329,267,289 円	292,908,470 円	327,950,084 円
費用額増加率		11.04%	11.96%

退職者医療制度は平成 20 年 4 月診療分から 65 歳に年齢が限定された。平成 20 年度分には平成 19 年度の平成 20 年 3 月診療分が含まれているため、平成 21 年度は減少しているように見えるが、平成 22 年度は 11.96%増加している。

高額療養費件数の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	3,925件	3,926件	4,229件
件数増加率		0.03%	7.72%
うち一般 件数	3,568件	3,703件	3,963件
増加率		3.78%	7.02%
うち退職 件数	357件	223件	266件
増加率		37.54%	19.28%

平成22年度は高額療養費の全体件数が7.72%増加している。

内訳として、一般・退職ともに増加している。

退職者医療制度は平成20年4月診療分から65歳に年齢が限定された。平成20年度分には平成19年度の平成20年3月診療分が含まれているため、平成21年度は減少しているように見えるが、平成22年度は19.28%と急増している。

高額療養費額給付額の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
高額療養費	280,073,307円	278,195,119円	312,388,314円
高額療養費増加率		0.67%	12.29%
件数	3,925件	3,926件	4,229件
うち一般高額療養費	243,132,505円	250,187,244円	283,714,659円
高額療養費増加率		2.90%	13.40%
件数	3,568件	3,703件	3,963件
1件当たり	68,143円	67,563円	71,591円
1件当たり増加率		0.85%	5.96%
うち退職高額療養費	36,940,802円	28,007,875円	28,673,655円
高額療養費増加率		24.18%	2.38%
件数	357件	223件	266件
1件当たり	103,476円	125,596円	107,796円
1件当たり増加率		21.38%	14.17%

高額療養費給付額は増加傾向にあり、特に一般は13.40%と急増している。また、一人当たり単価も5.96%増加している。

退職は、一般よりも被保険者数が少ないため、超高額な医療を受けた方がいた場合の影響を受けやすい。また、退職本人が60歳から64歳までの制度であるため、現役世代よりも医療費が高く、1件当たりの単価も10万円を超えている。